

果樹カメムシ類の発生状況

令和8年6月25日
静岡県病害虫防除所

● 7月における発生予測

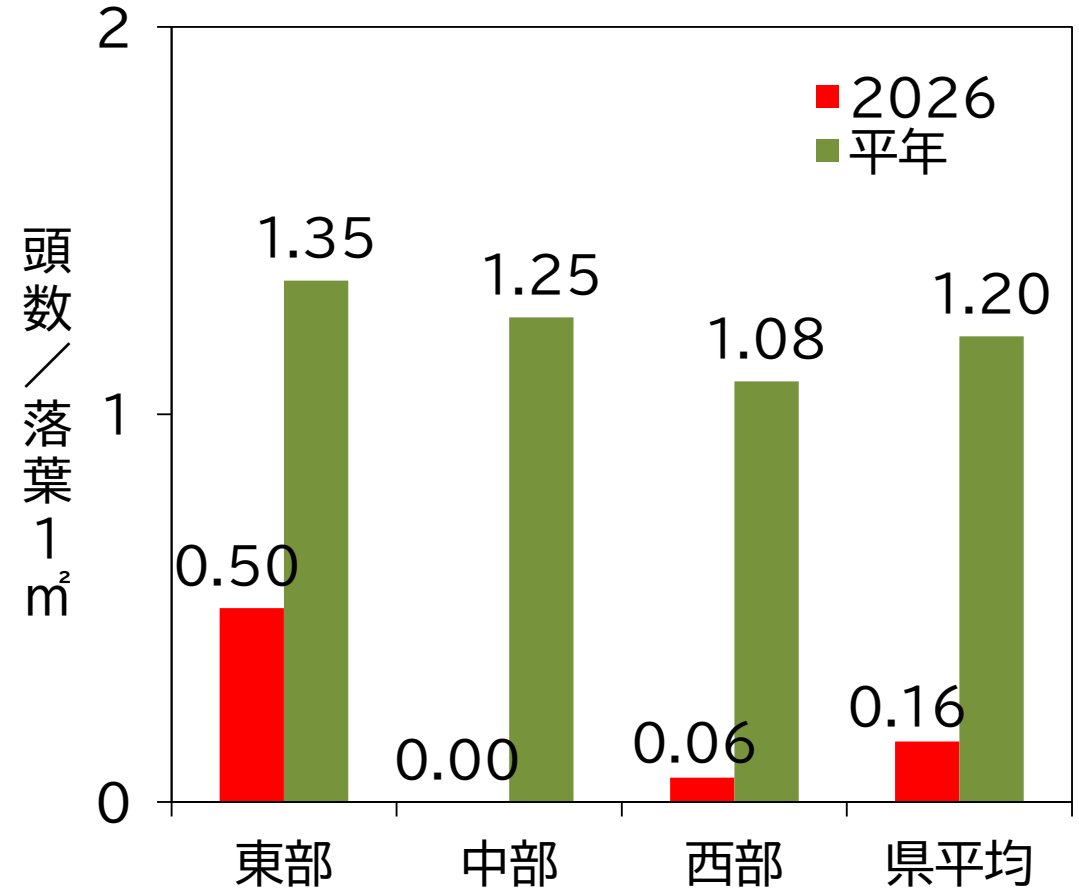
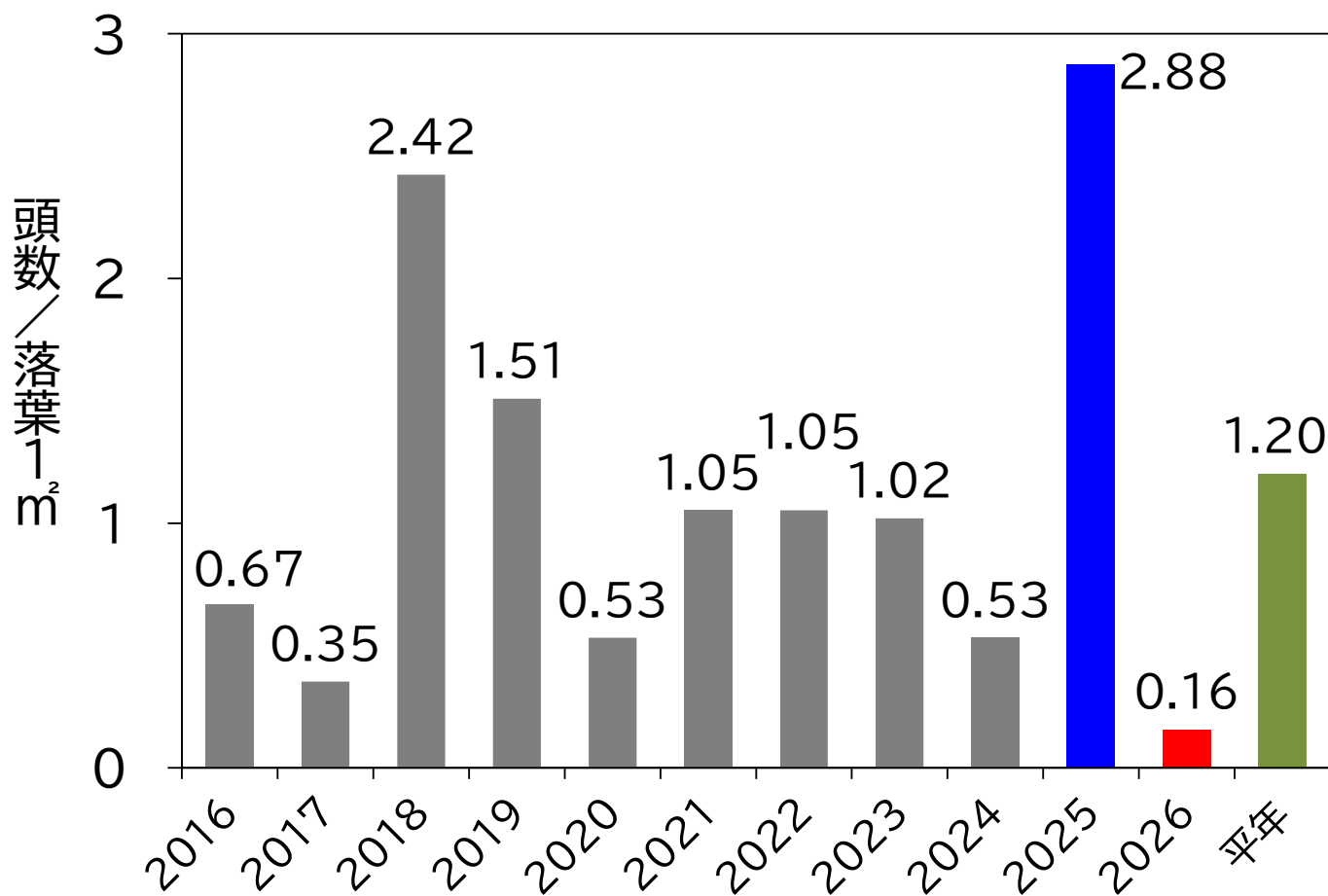
- ・県全体で**平年よりやや少ない**と予想される。

● 令和8年(2026年)における発生状況 (6月25日時点)

- ・チャバネアオカメムシ越冬量は、**平年より少なかった**。
- ・5月上旬の温州みかんの花における寄生数は**平年より少なかった**が、病害虫防除員による同様の調査では**平年より多かった**。なお、**多くの地域では寄生数は少なかったが、中部や西部の一部地域で花への多寄生が認められた**。
- ・県内4か所の予察灯における6月1～20日の合計誘殺数は、**平年より少なかった**。
- ・県内6か所のフェロモントラップにおける6月1～20日の合計誘殺数は、**平年より少なかった**。
- ・ヒノキ球果の着果量は、**平年より多かった**。
- ・ヒノキ球果における寄生数は、**平年より少なかった**。
- ・ヒノキ球果における吸汁痕／球果は0.01(平年0.2)であり、**平年より少なかった**。なお、本県では吸汁痕数が20に近づくと、本虫がヒノキから離脱し、餌を求めて果樹園に飛来するとされている。

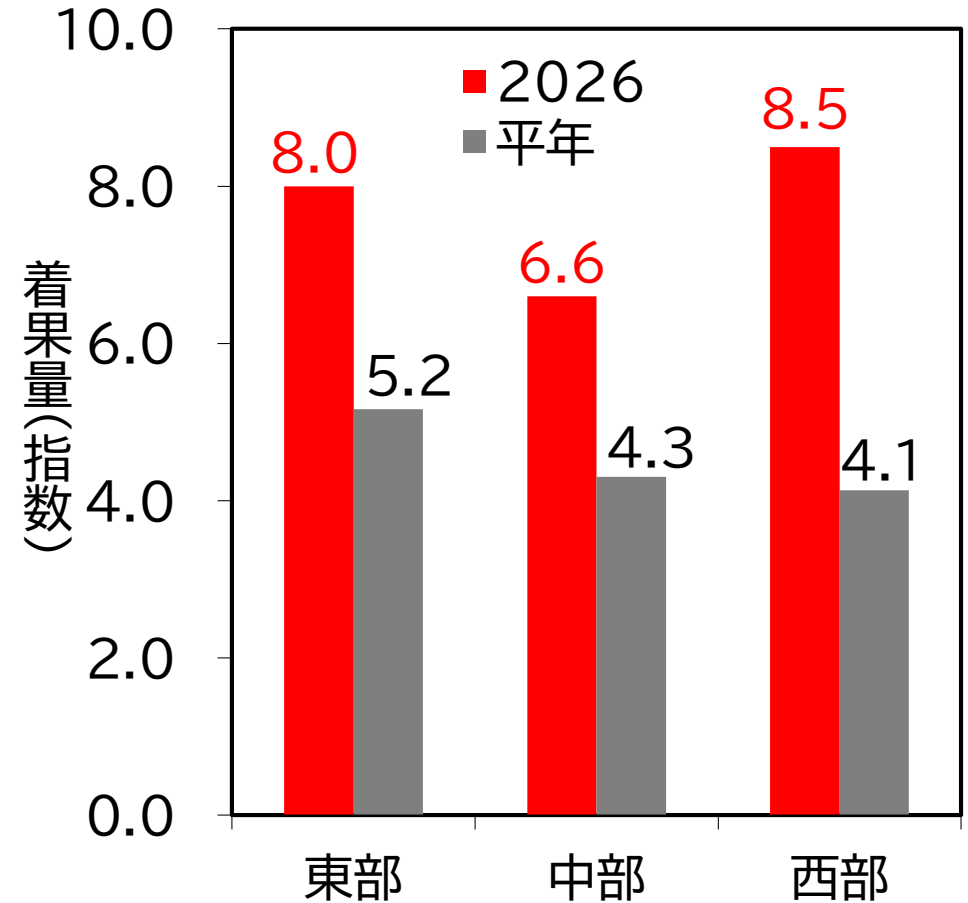
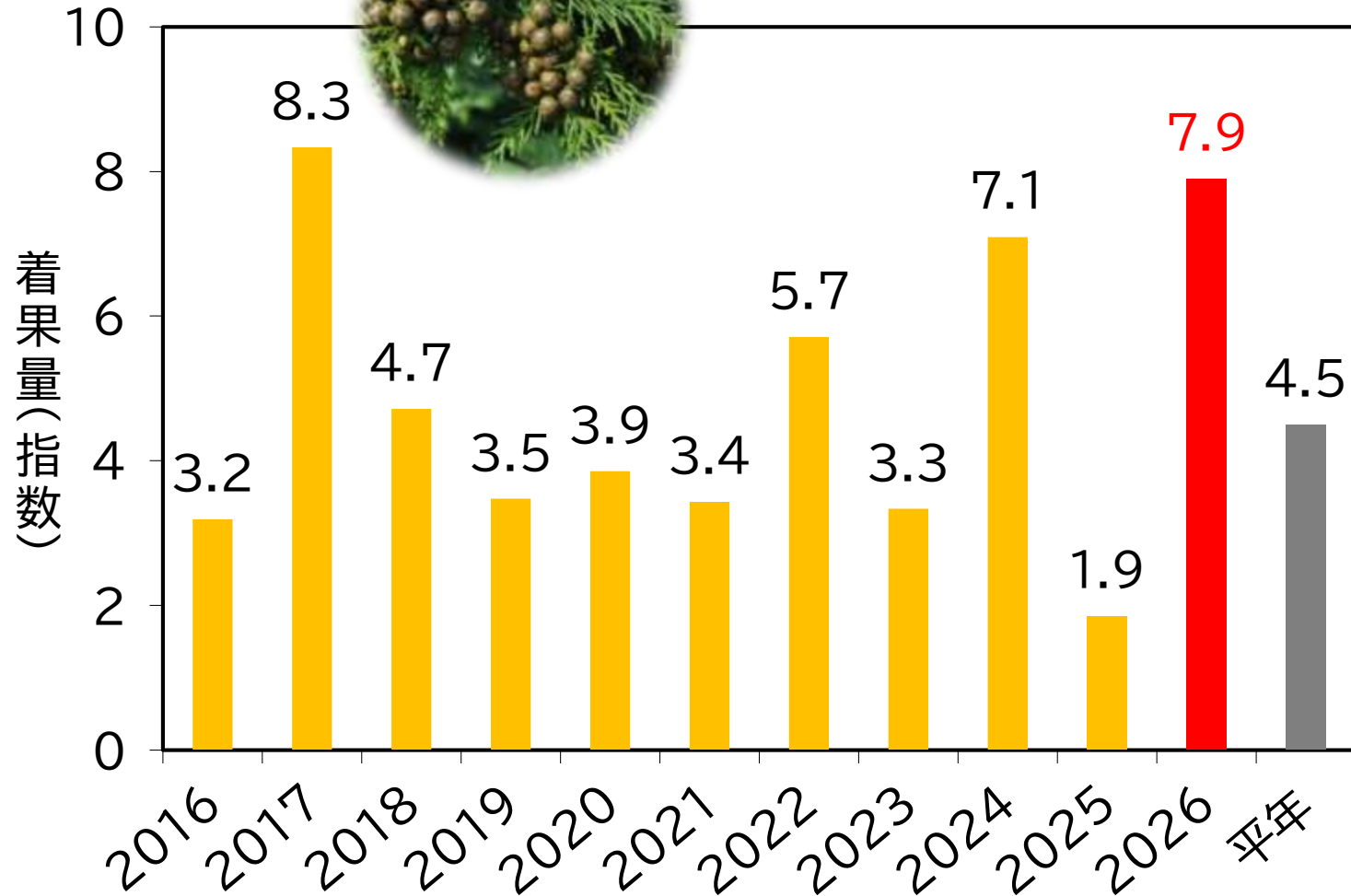


チャバネアオカメムシ越冬量 2026年



チャバネアオカメムシ越冬量は**平年より少ない**

ヒノキ球果(実)の着果量

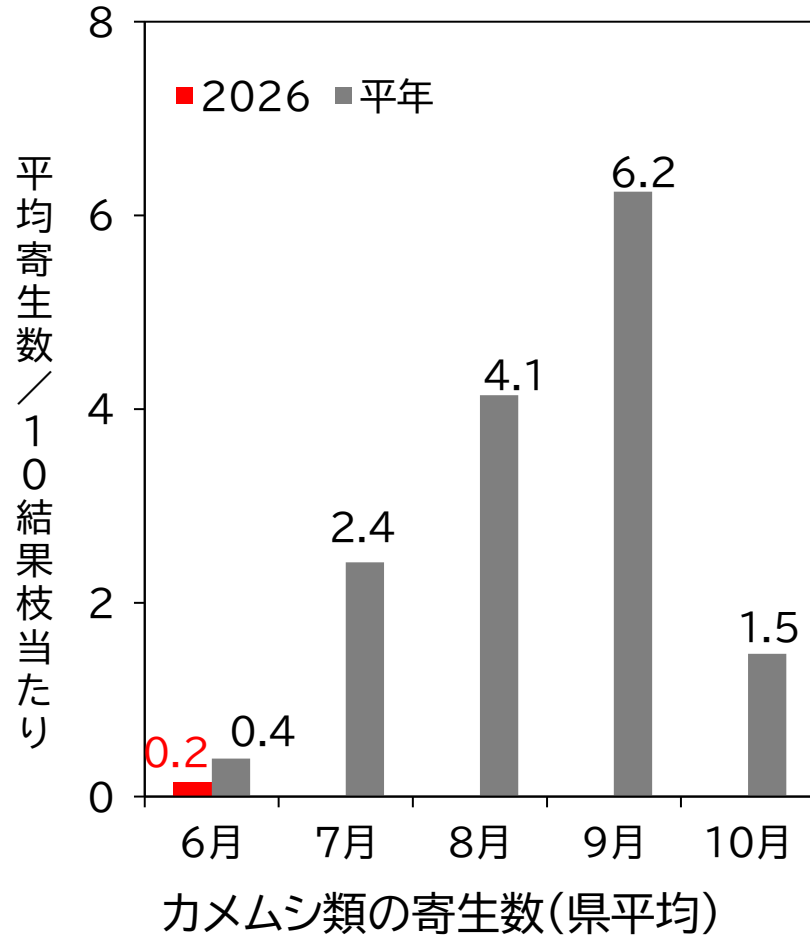


2026年におけるヒノキ着果量は**平年より多い**

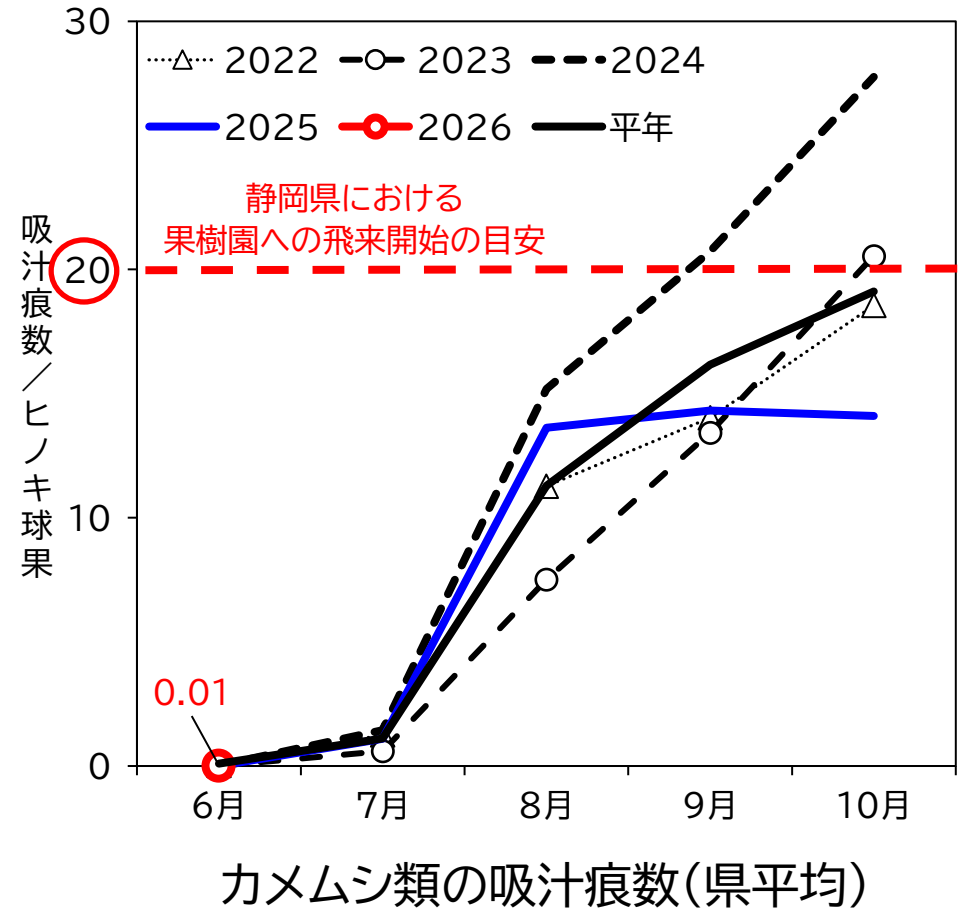
(果樹カメムシ類は球果を餌として増殖 → **着果量が多いと新成虫の増殖は助長**)



ヒノキ球果における カメムシ類寄生数とカメムシ類吸汁痕数



6月上中旬における寄生数は0.2頭／10結果枝
(平年0.4頭)と**平年より少なかった**



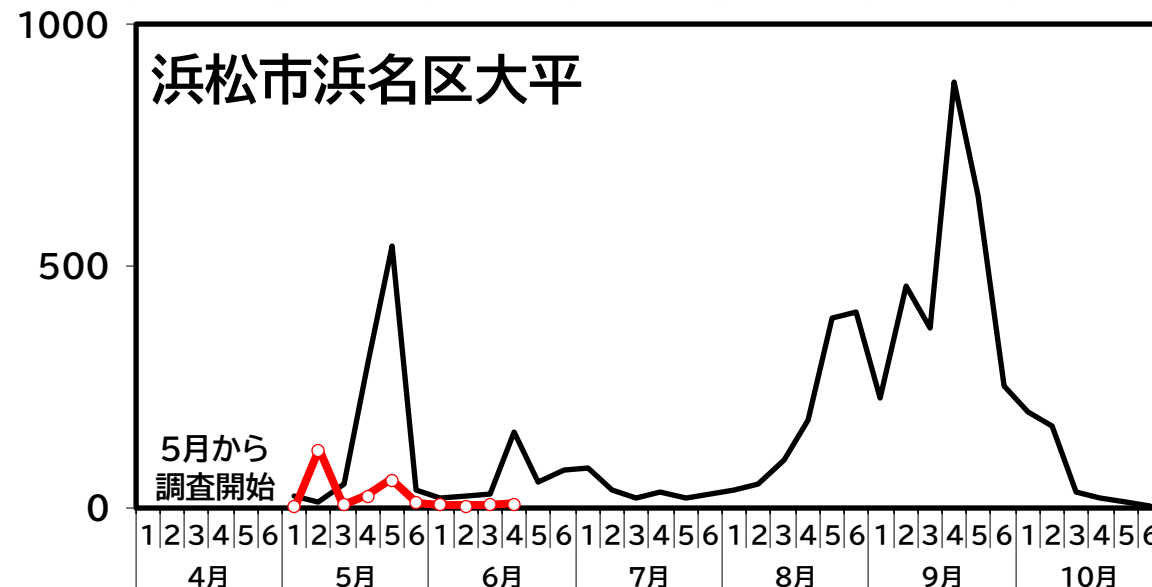
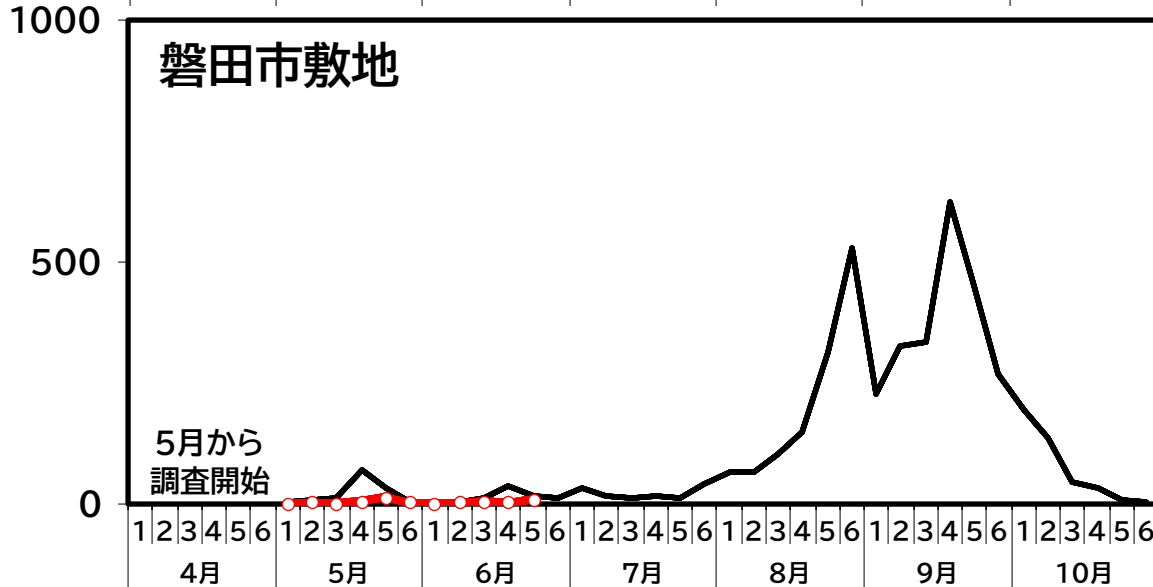
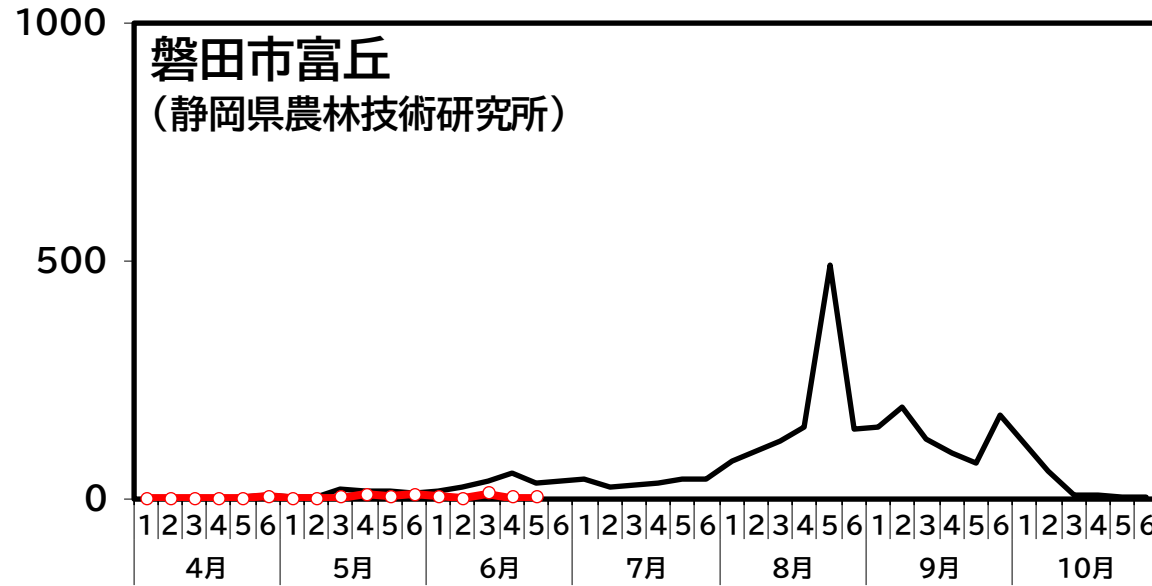
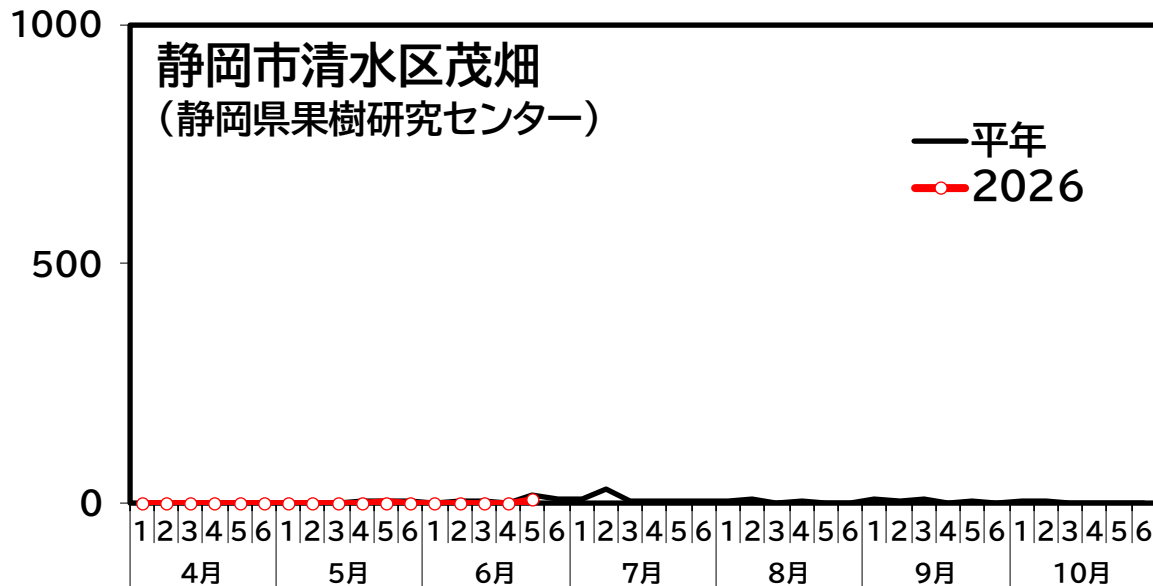
6月上中旬における吸汁痕／球果は0.01
(平年0.2)と**平年より少なかった**

チャバネアオカメムシ 予察灯 2026年

注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。



誘殺数
／
半旬



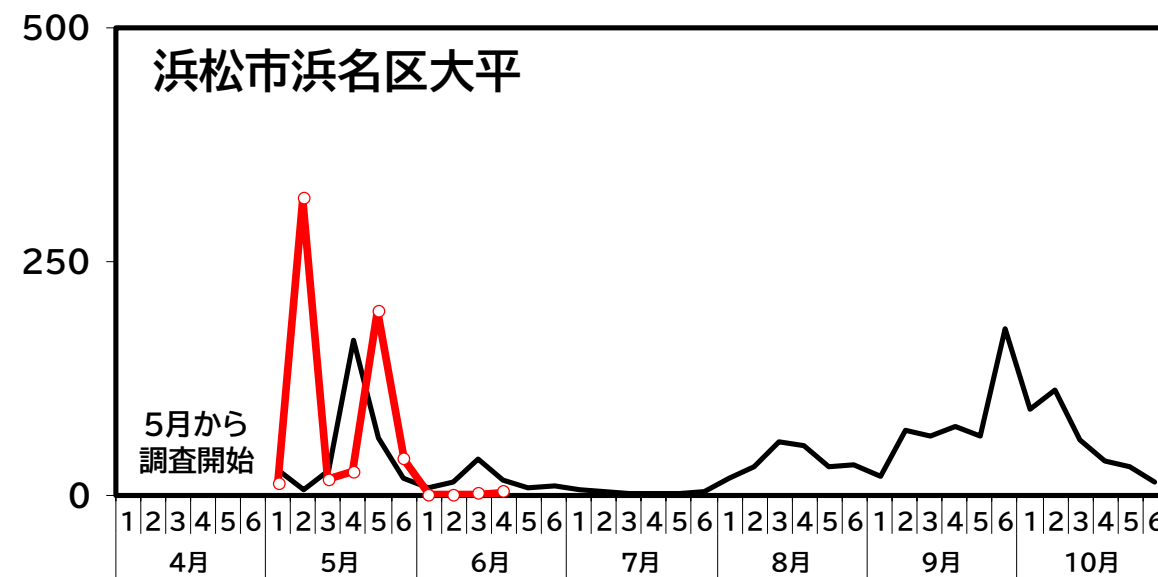
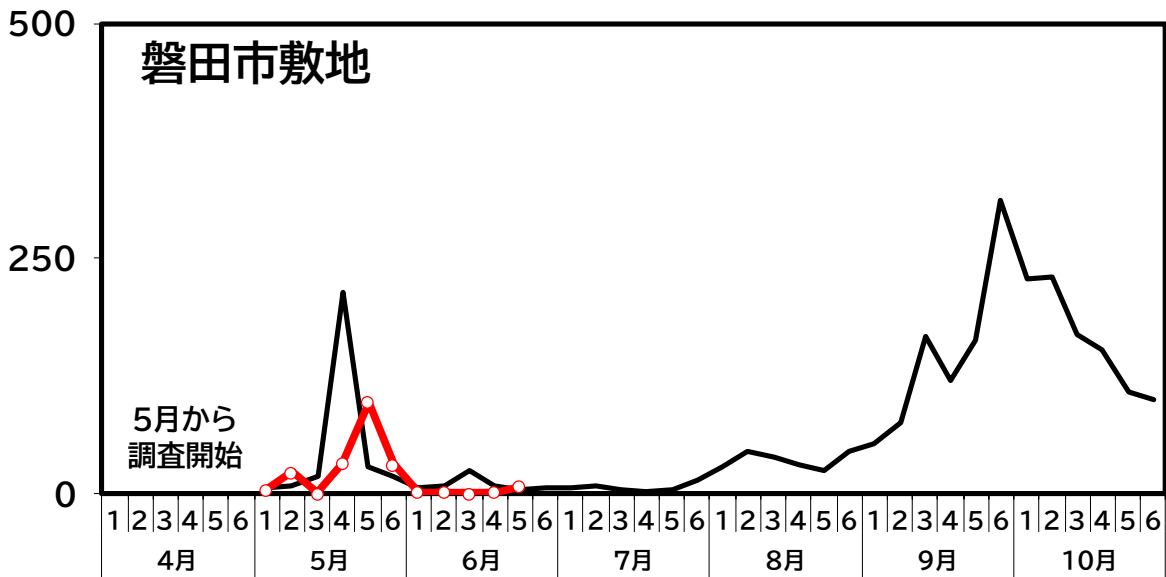
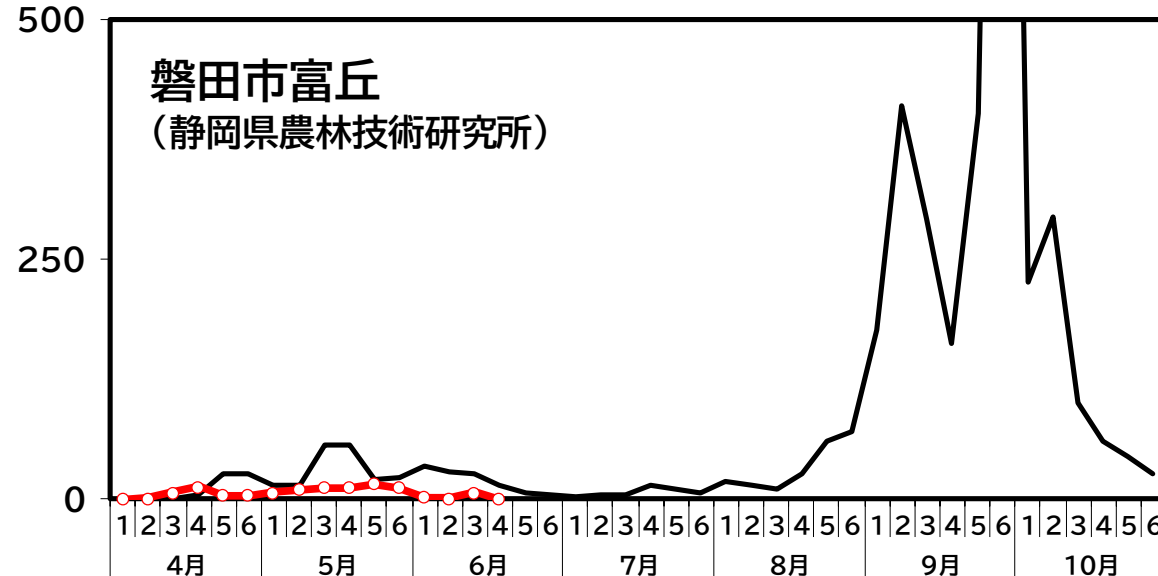
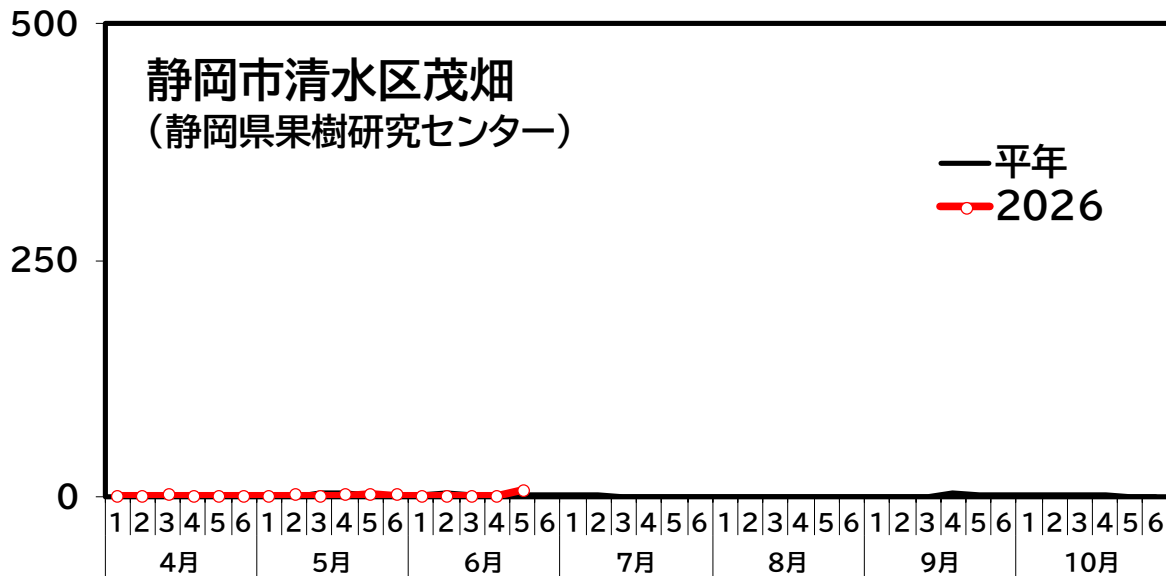


ツヤアオカメムシ 予察灯 2026年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

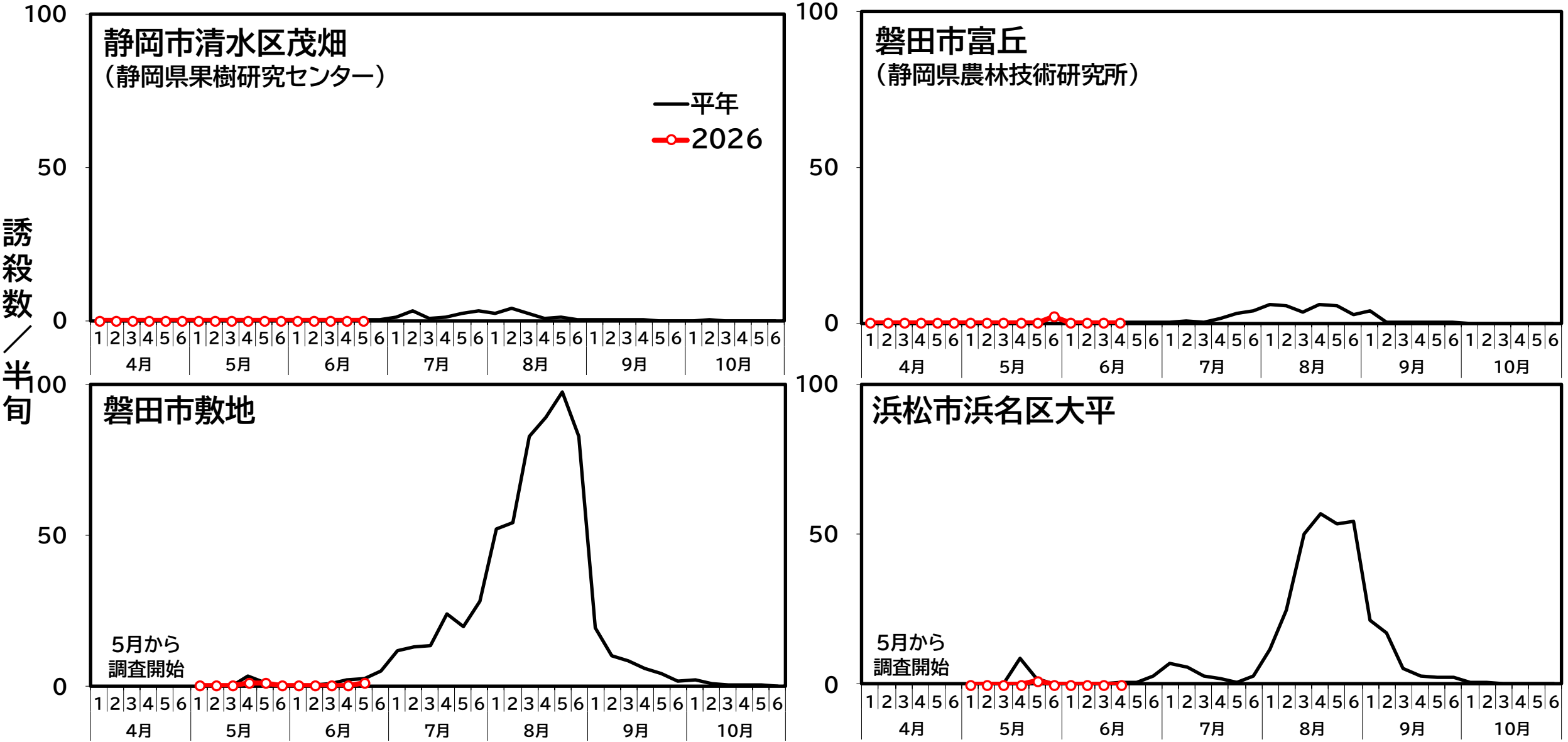
誘殺数
／半旬



クサギカメムシ 予察灯 2026年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

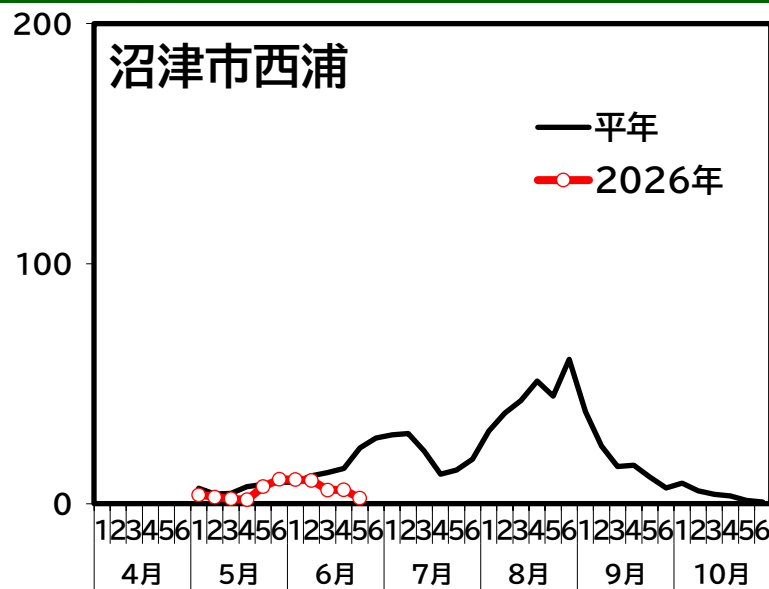


チャバネアオカメムシ フェロモントラップ 2026年

注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。



誘殺数／半旬

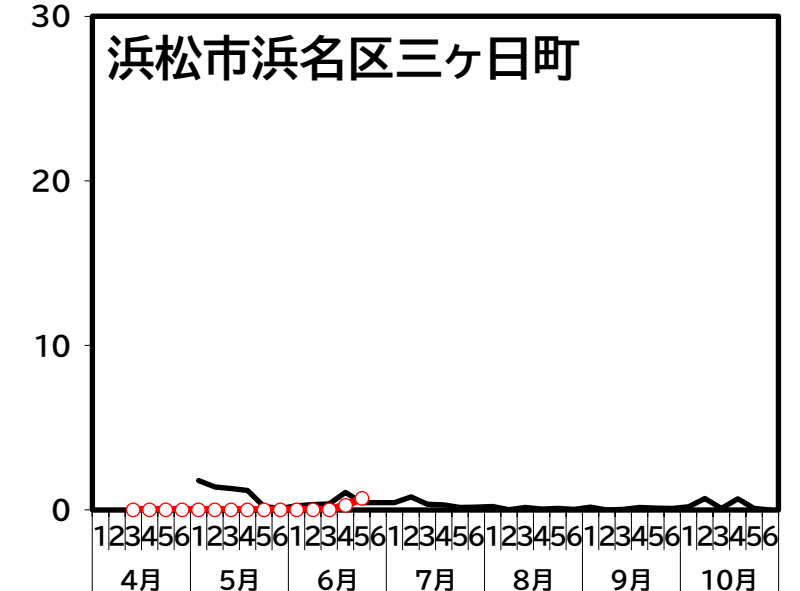
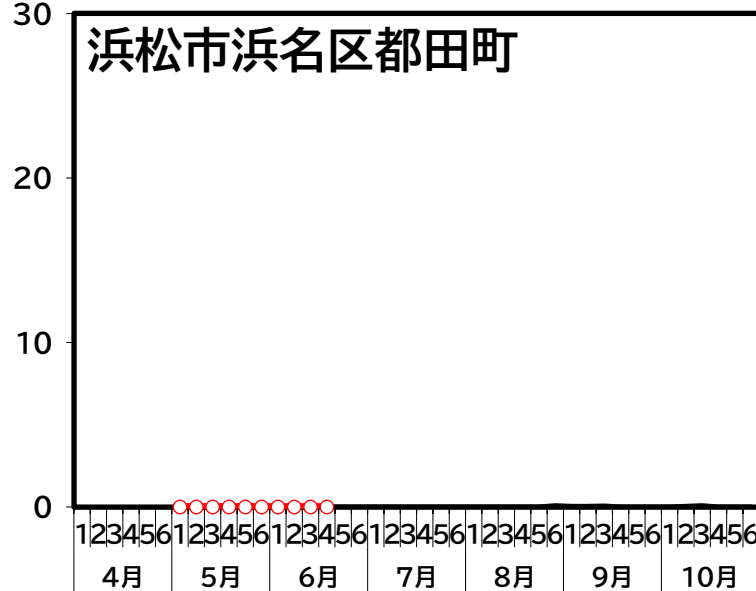
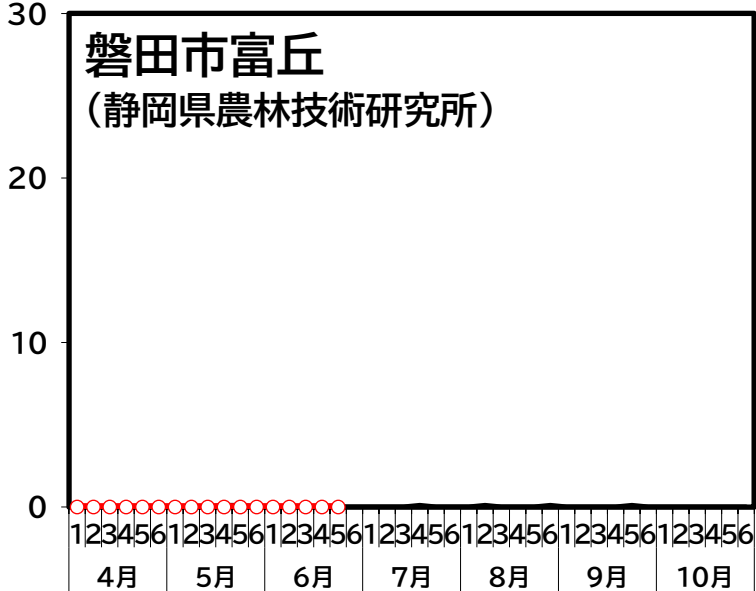
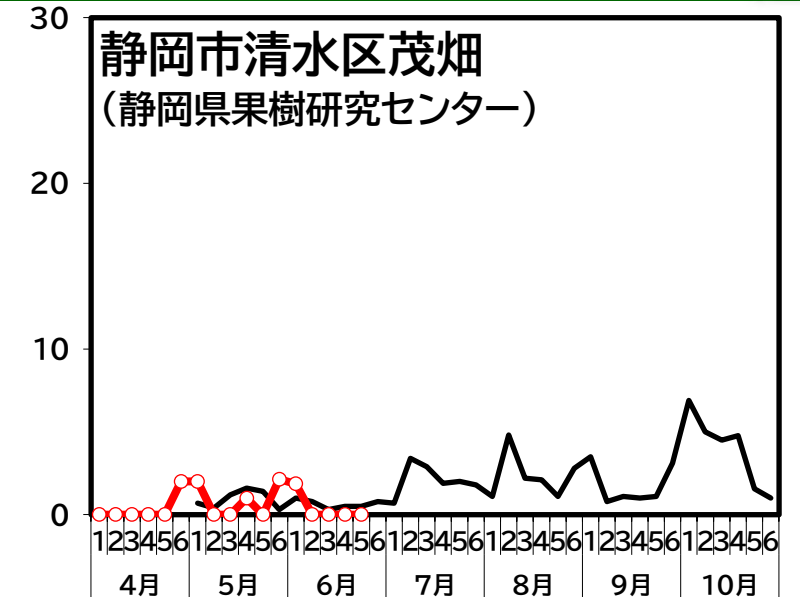
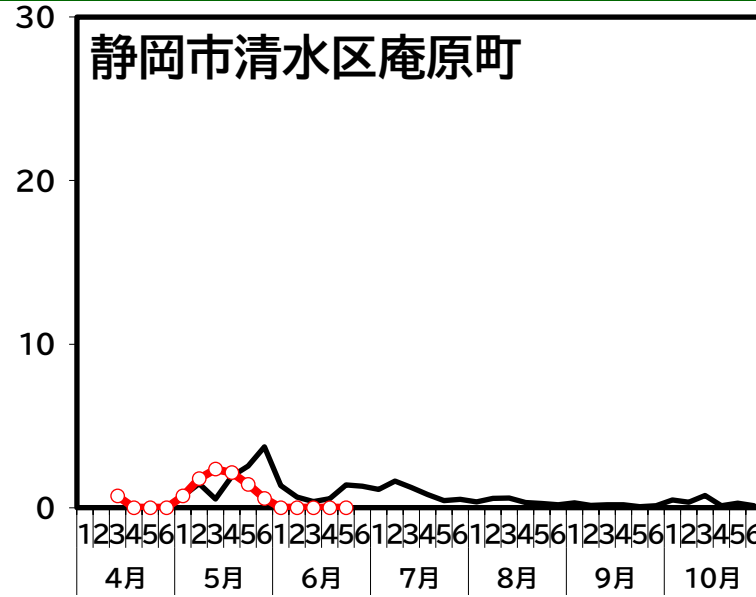
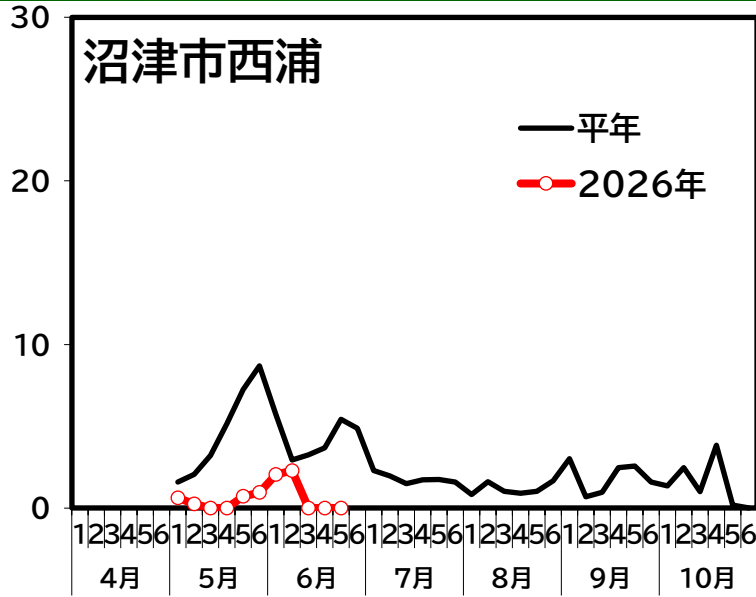


クサギカメムシ フェロモントラップ 2026年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数／半旬



（参 考）

・果樹カメムシ類の発生状況 2025年

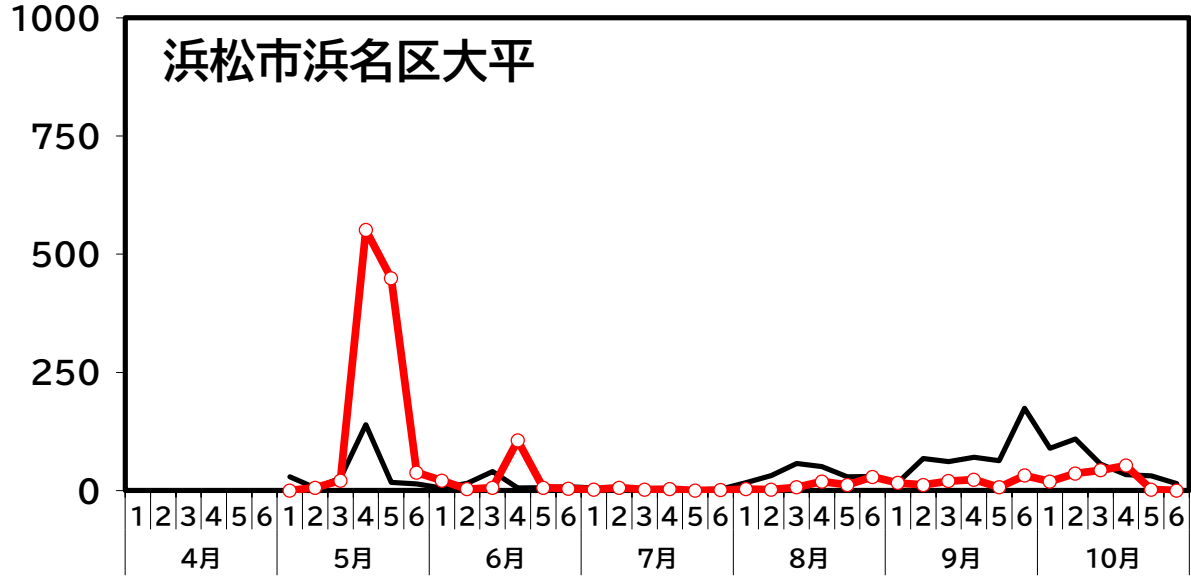
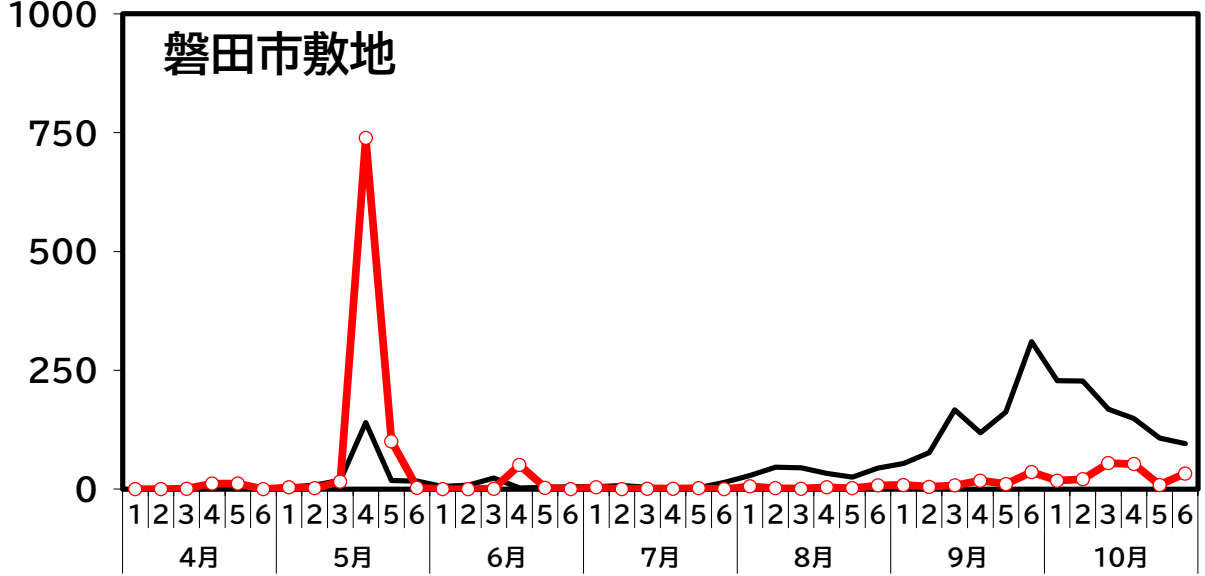
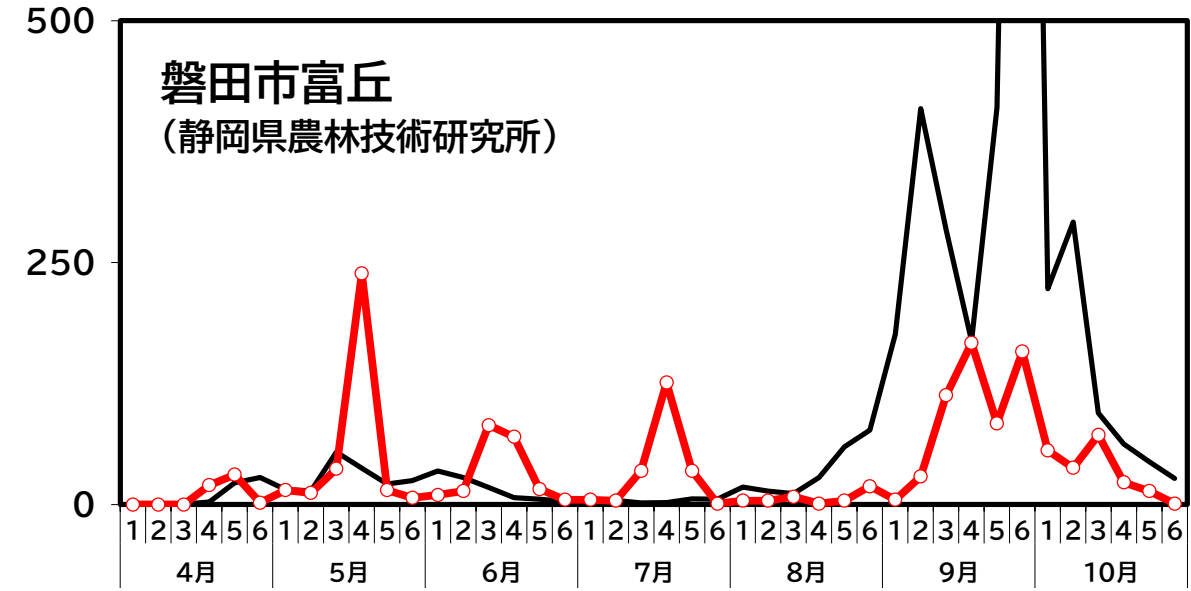
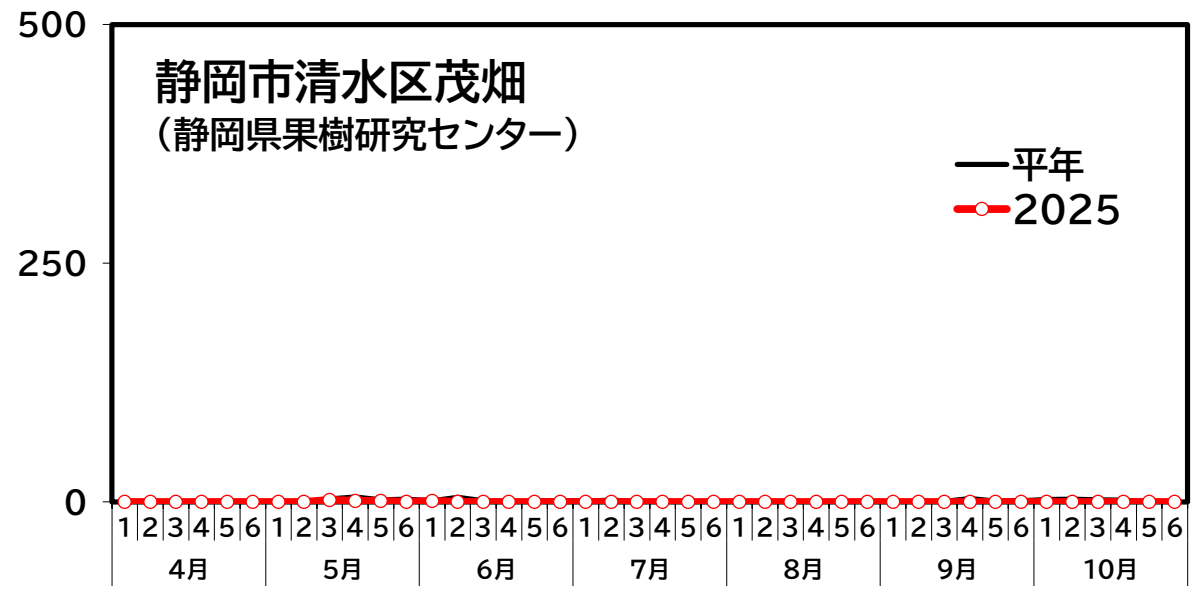


ツヤアオカメムシ 予察灯 2025年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数
／半旬





クサギカメムシ 予察灯 2025年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

